

事例発表②

【クラブの休会・解散対策の取り組み】

富田林市 寿宝会

富田林市シニアクラブ連合会（S C 富田林）

休会状態になったクラブを会長交代して復活

富田林市 寿宝会 会長 奥野 恭

■寿宝会の概要

- ・地 域：富田林市寿町3丁目・4丁目
世帯数 928 人口 1866人 65歳以上人口 552人 (2024年3月末日現在)
- ・会 員 数：60人 (男性13人、女性47人) (2024年3月末日現在)
〈60代 7人 70代 18人 80代 31人 90代 3人 100歳 1人〉
- ・役員構成：会長1 副会長1 書記1 会計1 会計監査1

■クラブ復活の経緯

1. コロナ禍の中でクラブが休会状態に。会員からは「寂しい」という声
 - ・「おしゃべり会」などを行っていた集会所がコロナの影響で使えなくなったのと、前会長が個人的事情から活動が難しくなり、クラブが休会状態に
 - ・会員の声「おしゃべりする場がなくなって、寂しい」
活動ができなくなったことで心身の健康に不調を抱える会員も
 - ・休会の状態をみて、SC富田林「単位シニアクラブよろず相談窓口」から、女性部で活動していた奥野に会長就任の要請
2. 会長を引き受ける決心につながったこと
 - ・奥野の思い「何十年も続いている寿宝会の灯を消してしまってはいけない」
 - ・副会長以下4人の役員から「力貸すよ」、会員からも「やってみない？」の声
 - ・SC富田林「単位シニアクラブよろず相談窓口」からの応援

3. 2022年3月～「おしゃべり会」を基本に活動を復活

- ・当面、毎月1回の「おしゃべり会」のみの活動とし、2022年3月から寿宝会を復活
- ・当初は奥野の自宅で開催、その後、町会と話し合っ集会所を使えるようになった

■復活後の活動とこれからの展望

- ・「おしゃべり会」：毎月第1日曜 午後1時～4時 参加者 約15人
参加者から「女性同士なので、しゃべりやすい」との声
- ・クラブ復活後、2の方が新入会
- ・おしゃべり会以外にも「お食事会」の開催など、少しずつ活動内容を広げている

「単位シニアクラブよろず相談窓口」の取り組み

富田林市シニアクラブ連合会（SC富田林） 会長 田中 優子

◎2022年、単位クラブの休会・解散を食い止めるため、
SC富田林で「単位シニアクラブよろず相談窓口」を開設

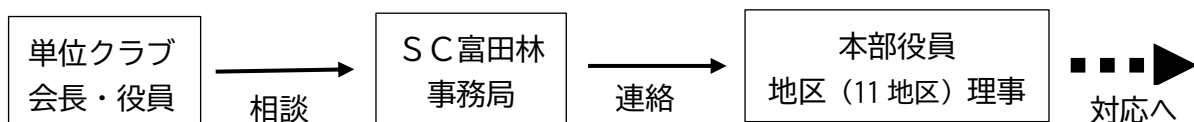
■目的

単位クラブの解散等の情報を早く知り、本部役員や地区の理事がすばやく相談に応じて、ともに解決策を見つけていく

■相談内容（例）

- ・次期会長や役員のなり手がなく、休会・解散する可能性が出てきている
- ・クラブ運営について、何らかの悩みがある
- ・他クラブの活動を参考にしたいが、他クラブ会長との面識がなく、情報が入らない
- ・休会や解散後、新たにメンバーを募り、会として活動を再開したい
- ・補助金申請や報告などの方法がわからない など

■相談対応の流れ



■開設による効果

- ①以前はクラブの解散が決定した後に初めて報告を受けることが多かったが、
よろず相談窓口開設後は、休会・解散に至る前に情報が入ってくるようになった
- ②よろず相談窓口以外でも、本部役員に直接相談が寄せられることが増えた
- ③各地区とのコミュニケーションが深まり、新規クラブの立ち上げにつながった

事務連絡
令和4年4月22日

各単位シニアクラブ会長 各位

富田林市老人クラブ連合会
会長 田中 優子

SC富田林「単位シニアクラブよろず相談窓口」の設置について

時下、貴殿には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当会の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、全国的に高齢化率が上昇しており、富田林市内でも高齢者人口は増加傾向にあります。SC富田林の会員数は近年減少の一途を辿っております。単位シニアクラブにおいても会員の高齢化や若手を中心とする新規入会者の減少などの理由により、会員数が減少しているクラブが多く、加えて会長をはじめとする役員のみならず手不足などの理由により、休会・解散するクラブが毎年数クラブずつあり、クラブ数も減少傾向に歯止めがかからない状況です。

ご承知の通りシニアクラブは、娯楽だけでなく、会員の健康維持や介護予防、孤立防止など各地域において重要な役割を担っております。クラブが休会・解散することで、活動が停滞し、会員の身体・認知機能が低下したり、今ある住民同士の繋がりが少なくなり、地域全体の活気が損なわれるおそれがあります。

そこでSC富田林では新たに「単位シニアクラブよろず相談窓口」を開設することといたしました。

「単位シニアクラブよろず相談窓口」では、単位シニアクラブ会長及び役員の方々が抱えておられるお悩みに対し、本部役員や理事らがお電話や対面により親身にご相談に応じ、解決に向けてともに考え、クラブならびに所属会員にとって、より良い方向性を模索することで、会員の皆さまが可能な限りお元気で、地域との繋がりのなかで引き続き楽しみを持ちながら過ごしていただけるよう取り組んで参ります。

ご相談いただける内容は例えば…

- ・次期会長や役員のみならず手がなく、休会・解散する可能性が出てきている
- ・クラブ運営について、何らかの悩みがある
- ・他クラブの活動を参考にしたいが、他クラブ会長との面識がなく、情報が入らない
- ・休会や解散後、新たにメンバーを募り、会として活動を再開したい
- ・補助金申請や報告などの方法がわからない などなど…

その他、上記以外にも気になることがございましたら、お気軽にご相談くださいますようお願いいたします。まず事務局にてご相談内容をうかがい、同地区または近隣地区の本部役員、理事らにお取り継ぎいたします。

富田林市社会福祉協議会内
富田林市老人クラブ連合会事務局
担当者 泉川・山本
〒584-0037 富田林市宮甲田町9番9号
TEL 0721-25-8261
FAX 0721-25-8230

■これまでの取り組み例

○単位クラブ会長から「後任の会長のなり手がなく、解散することになる」という連絡があり、そこで、本部役員が当該クラブの役員会に出席し、クラブの存続を訴えた。結果、現会長がもう1期（任期2年）務めることになり、解散を回避。その任期終了後はやはり解散となってしまったが、現在もクラブ復活に向けて話し合いを継続している。

○単位クラブ役員が新年度の総会で解散を提案しようとしているという情報が寄せられたため、本部役員から、かつて当該クラブで長年運営に関わっていた元役員に次期会長をお願いしてはどうかとアドバイス。結果、その元役員が会長職を引き継いでクラブを存続させることになった。

○自治会の老人部という位置づけで活動していた単位クラブが、自治会自体が解散することになったため、解散の危機に。本部役員と当該自治会役員とで話し合いを3回持ったが、残念ながら解散を食い止められなかった。

○以前はS C 富田林に加盟していたが、その後、脱退して活動していた単位クラブが、会長の高齢化を理由に解散。現在、本部役員から当該地区の住民に対して、少人数でもクラブを復活させて、S C 富田林に加盟して活動してもらえよう要請中。

○かなり以前に単位クラブが解散してしまった地区において、本部役員から地区で福祉活動に積極的に取り組んでいる女性にクラブ立ち上げをお願いし、結果、住民16人を集めてクラブを新設してもらうことができた。